

服装のきまり

Ⅰ 制服・制帽 6月1日・10月1日が衣替えの基準日です。
 基準日の前後に移行期間を設けます。移行期間以外でも各ご家庭でお子さまの体調や天候にあわせて服装を調整してください。

<冬 季>

男 子	女 子
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生服（黒・折りえり） <ul style="list-style-type: none"> ・下にカッターシャツ または ポロシャツ（白半袖・白長袖） ・下にスクールセーター・ベストを着用してもよい（紺・ボタンなし）。 ○ 学生ズボン（半ズボン または 長ズボン） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブレザー（紺・四つボタンのダブル） <ul style="list-style-type: none"> ・下にブラウス または ポロシャツ（白半袖・白長袖） ・下にスクールセーター・ベストを着用してもよい。（紺・ボタンなし） ○ ジャンパースカート または つりプリーツスカート（紺）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生帽（黒・線なし・帽章） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬帽子（紺無地・後ろリボン）
<p>※厳寒期には防寒着（ウィンドブレーカーなど）を着用して登下校してもよい。 （教室では脱ぎ、ランドセルの中にしめるものにする。）</p>	

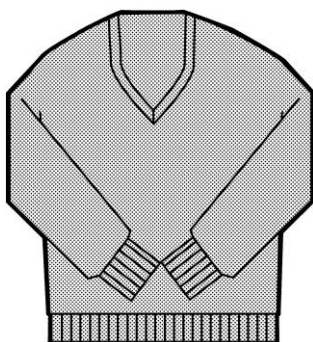
<夏 季>

男 子	女 子
<ul style="list-style-type: none"> ○ 白半袖ポロシャツ ○ 黒半ズボン ※名札を左胸に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワンピース（上白・下エンジ） または つりプリーツスカート ※名札を左胸に付ける。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏帽子（白・キャップ型） ※移行期は学生帽でも夏帽子でもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏帽子（白・後ろリボン） ※移行期間は冬帽子でも夏帽子でもよい。

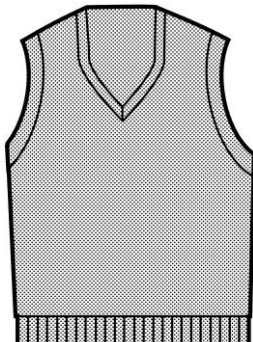
<移行期間>

- 移行期にはスクールベスト《紺・ボタンなし》での登校を認める。スクールセーターのみの登校は認めない。
- ※儀式的行事（入学式・卒業式・離任式・2学期終業式・1・3学期始業式・修了式）においては、冬季制服を着用する。

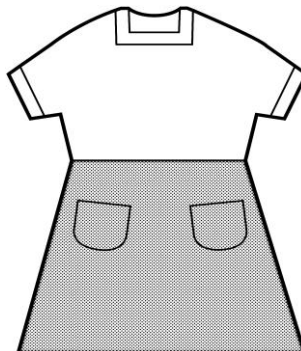
スクールセーター



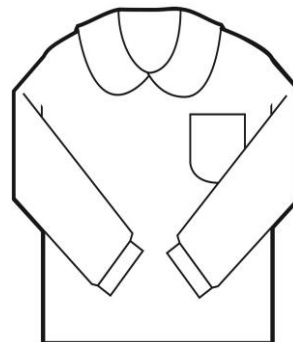
スクールベスト



女子ワンピース



ブラウス

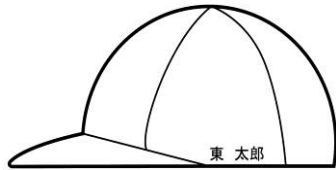
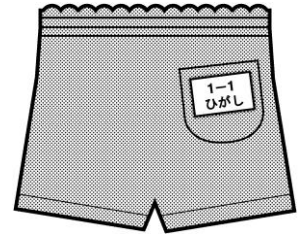


2 体操服・水着

- ・ トレーニングシャツ半袖（えりぐり・そでロエンジ色 校章入り）
- ・ ショートパンツ（エンジ 白線2本入り）ハーフパンツ
- ・ 寒いときは、東小規定の冬季用長袖、長ズボン体操服（ブルー）を着用する。
（長袖の下着やスパッツ・タイツを着るときは、外から見えないように上に冬用体操服を着る。）
- ・ 体操帽子・・・赤白帽子（ゴムひもをつける）
※体操服、体操帽子、水着には所定の位置に名前を付ける。



（体操服用名札 8cm×10cm程度）

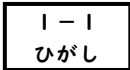


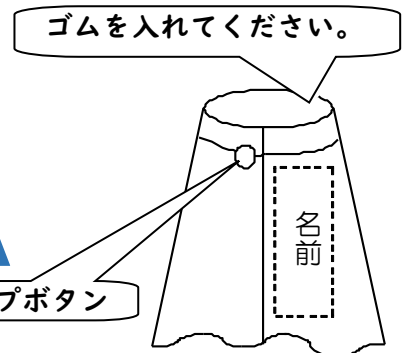
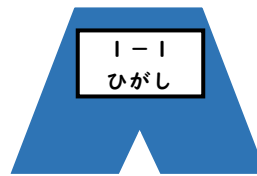
帽子には直接マジック等で書く。

体操服は、半袖長袖とも、はがき1/2の大きさの白布に学年・組・名前を書き、左胸につける。

ハーフパンツまたはショートパンツ、長ズボンとも、はがき1/4の大きさの白布を右後ろポケット部分につける。

・水着

名札は、はがき大の白布に  のように黒ペンで書いて、後ろ中央につけてください。



※帽子はオレンジ色

※バスタオルを図のようにしていただくと、着替えに便利です。

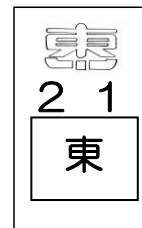
※水着は、児童の安全確保の観点から、視認性が優れたオレンジ色の水着の着用を奨励します。

※ラインの入っていない物、黒や紺の物、セパレート、フレア付きのものも可。

3 名札

- ・ 2年生以上は、黒台布に校章・学年章・クラス章・ネームプレートをつける。

<1年生>	<2年生以上>
1組 赤色台紙	
2組 青色台紙	



4 上ばき

吸圧シューズ…白

5 体育館シューズ

吸圧シューズ…緑のライン

6 通学靴

白運動靴（くるぶしの隠れないもの）

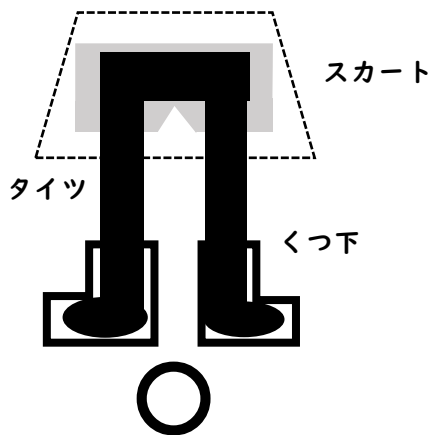
7 その他

- ・ 靴下は白色（足裏が灰色等可）黒、紺、グレーでくるぶしが隠れるもの。ワンポイント可、ライン不可。
- ・ 寒いときの登下校時には、手袋・マフラー・イヤーマフ・ネックウォーマーを着用してもよい。
（イヤーマフについては、華美でなく、音がよく聞こえる物。）
- ・ 寒い時には、タイツ・スパッツ（黒・白・紺の無地、飾り無し）を着用してもよい。（裏面参照）
- ・ ハイネックのシャツは、上着や体操服から出るため禁止とする。
- ・ 下着は、ポロシャツやブラウスなどから模様が見えにくいものを着る。

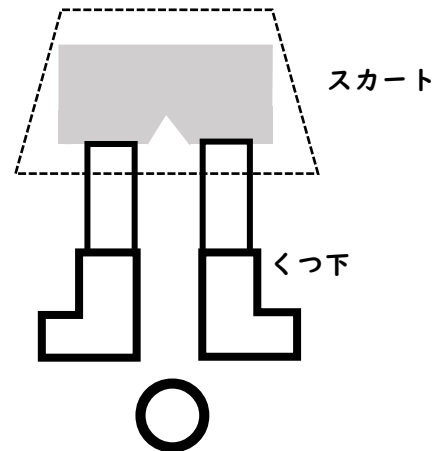
冬服時防寒具としてのタイツ・スパッツ使用について

タイツの場合

スカートの中は、体操ズボン（ショートパンツ）、
その他でもかまいません。

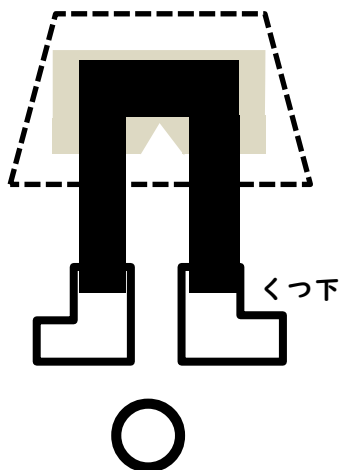


タイツの色は、黒・白・紺
白色の靴下は必ずはきましょう。



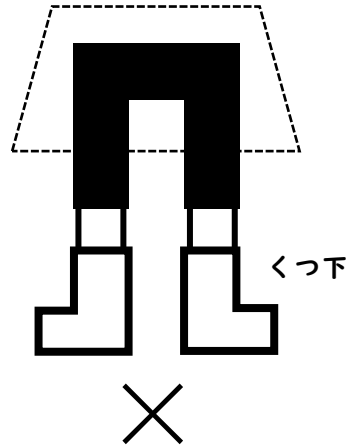
スカートから外に出ないように
はきましょう。

スパッツの場合



スパッツの色も黒・白・紺。模様や飾りのついたスパッツは不可。

短いスパッツは不可。



※生活のきまり・服装のきまりについては、随時、検討・見直しをして
いきます。